仁木町

くだものとワインが魅力「ちょうどいい田舎まち“仁木町”」

～仁木町の歴史と文化～

仁木町は明治期に開拓が進められ、当時から農業を産業の中心として発展してきました。

町名は、開拓に尽力した仁木竹吉（にきたけよし）に由来しています。

北限の鮎が棲まう清流「余市川」を中心に、恵まれた自然環境のもと、農業を中心とした地域文化が育まれ、現在も農業と暮らしが深く結びついたまちとして歩みを続けています。



ワイナリーの集まる旭台地区から町並みを望む▶

産業・特産品

仁木町は北海道有数の果樹産地として知られ、さくらんぼ、ぶどう、りんご、ミニトマトなど多彩な農産物が生産されています。近年はワイン用ぶどう栽培やワイナリー設立も進み、ワインのまちとしても注目を集めています。観光農園も多く、四季折々の味覚を楽しむことができます。



仁木町の四季を彩る旬のくだもの
（さくらんぼ・プルーン・シャインマスカット）





観光スポット

仁木町には、北海道のJリーグチーム「コンサドーレ札幌」の名を冠した屋外レクリエーション施設「コンサドーレ仁木パーク」、「コンサドーレ仁木スキーパーク」をはじめ、果樹園やワイナリーなど、様々な世代の方が、自然と食を楽しめるスポットがあります。

四季を通じて美しい田園風景が広がり、春の花々、夏の果実、秋の収穫風景、冬の雪景色など、北海道らしい魅力を感じることができます。



昭和53年から約50年の時を経て令和7年に「コンサドーレ仁木スキーパーク」としてリニューアルした仁木町民スキー場▶



イベント情報

仁木町では、まちの初夏を彩る「さくらんぼ」にちなんだ「さくらんぼフェスティバル」を皮切りに、町内に設定されたコースを、ワインと果物や地元食材を生かしたフードメニューを楽しみながら、歩いたり、走ったりしつつ楽しむ「仁木フルーツ&ワインマラニック」、町内のワイナリーを巡り、ワインとフードメニューのペアリングを楽しめる「ワイリングウォークフェス」といった、四季折々の自然とともに、仁木町ならではの魅力を体感できるイベントが行われています。

◀仁木町の果樹観光シーズンスタートを告げる「さくらんぼフェスティバル」では町産さくらんぼの直売が人気

都会にほど近い「ちょうどいい”田舎まち”」

仁木町は、札幌市や千歳空港に加え、国際的観光地である小樽市やニセコエリアへのアクセスにも恵まれた、自然豊かな環境の中で、ゆとりある暮らしを楽しめるまちです。

近年は、ワイン産地としての魅力にも注目が集まっており、移住・定住への関心も高まっています。都会にほど近い「ちょうどいい田舎まち“仁木町”」へぜひお越しください。



令和7年3月に仁木IC開通。札幌からのアクセス性がさらに向上（約45分）しました▶

※掲載内容は仁木町役場　総務課様よりご提供いただきました。【連絡先】TEL:0135-32-2511